

総合問題① 財務諸表と連結修正仕訳との対応関係・個別利益と連結利益 B4

【個別財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表
平成 X2 年 12 月 31 日 (単位: 円)

諸 資 産	520,000	諸 負 債	300,000
		資 本 金	150,000
		利 益 剰 余 金	70,000
			70,000
	520,000		520,000

S 社損益計算書
自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位: 円)

諸 費 用	100,000	諸 収 益	160,000
当 期 純 利 益	60,000		
	60,000		160,000
	160,000		160,000

※ S社は平成 X3 年 3 月に剰余金の配当 20,000 円を行っている。

S 社貸借対照表
平成 X3 年 12 月 31 日 (単位: 円)

諸 資 産	560,000	諸 負 債	300,000
		資 本 金	150,000
		利 益 剰 余 金	110,000
			110,000
	560,000		560,000

【連結修正後財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表
平成 X2 年 12 月 31 日 (単位: 円)

諸 資 産	520,000	諸 負 債	300,000
の れ ん	72,000	子 会 社 株 式	200,000
		利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	4,000
		非 支 配 株 主 持 分	88,000
	592,000		592,000

S 社損益計算書
自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位: 円)

諸 費 用	100,000	諸 収 益	160,000
の れ ん 償 却 額	8,000	受 取 配 当 金	▲ 12,000
非支配株主に帰属する当期純利益	24,000		
親会社株主に帰属する当期純利益	16,000		
	148,000		148,000

S 社貸借対照表
平成 X3 年 12 月 31 日 (単位: 円)

諸 資 産	560,000	諸 負 債	300,000
の れ ん	64,000	子 会 社 株 式	200,000
		利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	20,000
		非 支 配 株 主 持 分	104,000
	624,000		624,000

【仕訳一巡(連結第 2 年度期首～連結第 3 年度期首)】(単位: 円)

◆ 連結第 2 年度開始仕訳 (平成 X3 年 1 月 1 日) 親会社持分当期首残高

資本金当期首残高	150,000	子 会 社 株 式	200,000
利益剰余金当期首残高	70,000	利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	4,000
の れ ん	72,000	非 支 配 株 主 持 分	88,000

※ 本試験では(借方)と(貸方)の利益剰余金当期首残高を相殺して下さい。

◆ 当期純利益の個別消去・連結振替 (本来の手続きではありません)

当 期 純 利 益	60,000	当 期 純 利 益	60,000
-----------	--------	-----------	--------

◆ 当期純利益の非支配株主への按分: $60,000 \times 40\% = 24,000$

非支配株主に帰属する当期純利益	24,000	非支配株主持分当期変動額	24,000
-----------------	--------	--------------	--------

◆ のれんの償却

の れ ん 償 却 額	8,000	の れ ん	8,000
-------------	-------	-------	-------

◆ 配当金の相殺消去等

受 取 配 当 金	12,000	剰 余 金 の 配 当	20,000
非支配株主持分当期変動額	8,000		

◆ 連結第 3 年度開始仕訳 (平成 X4 年 1 月 1 日) 親会社持分当期首残高

資本金当期首残高	150,000	子 会 社 株 式	200,000
利益剰余金当期首残高	110,000	利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	20,000
の れ ん	64,000	非 支 配 株 主 持 分	104,000

※ 本試験では(借方)と(貸方)の利益剰余金当期首残高を相殺して下さい。

総合問題① 財務諸表と連結修正仕訳との対応関係・色分けなし B4

【個別財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表

平成 X2 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	520,000	諸 負 債	300,000
		資 本 金	150,000
		利 益 剰 余 金	70,000
	520,000		520,000

S 社損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 費 用	100,000	諸 収 益	160,000
当 期 純 利 益	60,000		
	160,000		160,000

※ S 社は平成 X3 年 3 月に剰余金の配当 20,000 円を行っている。

S 社貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	560,000	諸 負 債	300,000
		資 本 金	150,000
		利 益 剰 余 金	110,000
	560,000		560,000

【連結修正後財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表

平成 X2 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	520,000	諸 負 債	300,000
の れ ん	72,000	子 会 社 株 式	200,000
		利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	4,000
		非 支 配 株 主 持 分	88,000
	592,000		592,000

S 社損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 費 用	100,000	諸 収 益	160,000
の れ ん 償 却 額	8,000	受 取 配 当 金	▲ 12,000
非支配株主に帰属する当期純利益	24,000		
親会社株主に帰属する当期純利益	16,000		
	148,000		148,000

S 社貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日 (単位：円)

諸 資 産	560,000	諸 負 債	300,000
の れ ん	64,000	子 会 社 株 式	200,000
		利 益 剰 余 金(取得後剰余金)	20,000
		非 支 配 株 主 持 分	104,000
	624,000		624,000

【仕訳一巡(連結第 2 年度期首～連結第 3 年度期首)】(単位：円)

◆ 連結第 2 年度開始仕訳 (平成 X3 年 1 月 1 日)

資本金当期首残高 150,000 子会社株式 200,000

利益剰余金当期首残高 70,000 利益剰余金当期首残高 4,000

のれん 72,000 非支配株主持分当期首残高 88,000

※ 本試験では(借方)と(貸方)の利益剰余金当期首残高を相殺して下さい。

◆ 当期純利益の個別消去・連結振替 (本来の手続きではありません)

当期純利益 60,000 当期純利益 60,000

◆ 当期純利益の非支配株主への按分：60,000×40%=24,000

非支配株主に帰属する当期純利益 24,000 非支配株主持分当期変動額 24,000

◆ のれんの償却

のれん償却額 8,000 のれん 8,000

◆ 配当金の相殺消去等

受取配当金 12,000 剰余金の配当 20,000

非支配株主持分当期変動額 8,000

◆ 連結第 3 年度開始仕訳 (平成 X4 年 1 月 1 日)

資本金当期首残高 150,000 子会社株式 200,000

利益剰余金当期首残高 110,000 利益剰余金当期首残高 20,000

のれん 64,000 非支配株主持分当期首残高 104,000

※ 本試験では(借方)と(貸方)の利益剰余金当期首残高を相殺して下さい。

総合問題① 財務諸表と連結修正仕訳との対応関係・練習用 B4

【個別財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表

平成 X2 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	資	産	520,000	諸	負	債	300,000
/				資	本	金	150,000
				利	益	剰	余
			520,000				520,000

S 社損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	費	用	100,000	諸	収	益	160,000
当			期	純			利
			益				60,000
			160,000				160,000

※ S 社は平成 X3 年 3 月に剰余金の配当 20,000 円を行っている。

S 社貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	資	産	560,000	諸	負	債	300,000
/				資	本	金	150,000
				利	益	剰	余
			560,000				560,000

【連結修正後財務諸表(平成 X 2 年度末～平成 X 3 年度)】

S 社貸借対照表

平成 X2 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	資	産	520,000	諸	負	債	300,000
/							

S 社損益計算書

自平成 X3 年 1 月 1 日 至平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	費	用	100,000	諸	収	益	160,000
/				/			

S 社貸借対照表

平成 X3 年 12 月 31 日 (単位:円)

諸	資	産	560,000	諸	負	債	300,000
/				/			

【仕訳一巡(連結第 2 年度期首～連結第 3 年度期首)】(単位:円)

◆ 連結第 2 年度開始仕訳 (平成 X3 年 1 月 1 日)

◆ 当期純利益の個別消去・連結振替 (本来の手続きではありません)

◆ 連結第 3 年度開始仕訳 (平成 X4 年 1 月 1 日)

◆ 当期純利益の非支配株主への按分

◆ のれんの償却

◆ 配当金の相殺消去等